

# 情報かわら版



川崎市立小学校情報教育研究会  
会長 岩田昭彦(宿河原小学校)  
平成29年11月 第6号  
担当 橘小学校 佐藤 譲

情報研おすすめイベントはこちらのQRコードからぜひ！

## 5年国語科「伝記を読んで、自分の生き方について考えよう」 第2回授業研究会 11月15日(水) 西生田小学校にて 授業者：佐瀬洋子先生

今回の授業は、新学習指導要領において学習の基盤となる資質・能力として記されている「情報活用能力」を育てていくことに視点を置いた単元です。また、「情報カード」を活用していくことで伝記からの情報の収集や整理をし、表現していく力を育てていくことができると考えた実践です。さまざまな教科・領域で活用でき、汎用性のある手立て・ツールであると考え、指導案検討を重ねたり、各学校で実践をしたりしてきました。「情報カード」とは、『藤田式「調べる学習」指導法』（藤田利江著 子どもの未来社）を参考にし、児童一人一人が資料を効果的に読み取るために使用するカードの総称としています。

### 本との素敵な出会いが学びのスタート

西生田小5年1組佐瀬級の子どもたちは、日頃から読書することに楽しみや喜びを感じ、「本の世界」に十分に浸ることができていました。また、佐瀬先生の日頃の読書活動に対する取り組みや温かい教室環境を作ることで、子どもたちが落ち着いて学習に取り組み、伝記と一人一人が対話し、楽しみながら活動する様子が見られました。西生田小学校の図書室は、子どもたちにとって見やすくレイアウトされた部屋になっており、また子どもたちの実態にあった本が整備されています。そのため、子どもたち一人一人が自分に合いそうな伝記と必然的に出会うことができたようです。



### 「情報活用能力」を育てるための「情報カード」の活用

一人一人が選んだ伝記の内容や要旨をとらえることができるように「情報カード」を使って書きためたり、分類したり、取捨選択したりしていくことで、子どもたちの思考を助けることができると考えて、実践を行いました。本時では、「情報カード」を活用し、伝記の人物から取り入れたい言葉を選び、どのように活かしていきたいかを考えていきました。その中で子どもたち同士がかかわり合ってお互いにアドバイスし合ったり、佐瀬先生が全体指導でわかりやすく説明をしたり、個別に適切に指導することで、子どもたちが自信をもって、伝記から自分の心に残った言葉を選ぶことができました。

協議会では、「情報カード」の活用が情報活用能力の育成につながっていたかについてPMIシート※を用いて話し合われました。また、佐瀬先生の日々の取り組みも話題になり、参加者のみなさんから活発な意見が出され、各グループごとに有意義な時間となりました。話し合った話題について、各グループのファシリテーターの先生より報告がありました。※PMI・・・P (Plus) M (Minus) I (Interesting) の頭文字を指す。

アイデアの良い点、悪い点だけでなく、興味深い点を加えて分類し、考えてみようというもの



### 「情報活用能力」の育成は、各教科領域において適切に位置付けていくことが大切

講師の情報・視聴覚センター 草柳譲治指導主事からは、新学習指導要領における情報活用能力の位置付けからこの単元についてお話いただきました。一時間ごとだけでなく、単元全体や様々な問題解決的な学習の中で、情報活用能力を育てていくように学習活動全体の中に位置付けていくことが大切であるとのことでした。また、その中で教師が具体的かつ適切な仕掛けや手だてを行うことで、子どもたちの思考を広げたり深めたりすることにつながることも教えていただきました。また、子どもたちがこの単元を通しての明確な姿をイメージして評価についても見直す必要があるのではないかとご助言いただきました。